

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	経営管理工学	
科目基礎情報							
科目番号	71013			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質工学専攻			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	後期:2		
教科書/教材	授業でつかうプレゼン資料						
担当教員	挾間 雅義						
到達目標							
・経営管理、販売管理についてやや難しい知識を理解し、応用できる。 ・ビジネスプランについては自主的かつ発展的にチームをリードしながら構築できる。 ・経営工学手法を理解し、モデルを作成することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	経営管理・販売管理について、やや難しい知識を有することができ、発展的に応用できる		経営管理・販売管理について、正しく理解でき、応用できる		経営管理・販売管理について、ある程度の知識を有し、すこし応用できる		経営管理・販売管理について少しの知識しか有さず、応用もできない
評価項目2	ビジネスプランを自主的かつ発展的にチームをリードしながら構築できる		ビジネスプランを自主的に構築できる		ビジネスプランを定められた書式の範囲内で構築できる		ビジネスプランを構築できない
評価項目3	経営工学手法を用いてやや複雑なモデルを作成することができる。		経営工学手法を理解しモデルを作成することができる		経営工学手法の基本部分を理解できる		経営工学手法を理解できない
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第3、第4学期開講 応用的な内容を扱うため、少し難しいと思うかもしれないが、わからない部分はまず、自分たちで調べ、次に教員に質問することで解決させておく必要がある。半期の中で講義とグループワーク形式により、他高専間の学生と交流し、コミュニケーションを取りながら、いろいろな視点で経営管理工学の内容を理解する。						
授業の進め方・方法	・資料を配布 ・スマートボードで授業をおこなう。 ・グループで課題に取り組む						
注意点	他高専生との交流形式で授業をおこないますので、楽しみながら取り組んでください。本科の経営工学、マーケティング論、生産管理論の理解をしておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	連携教育に関するガイダンスと遠隔チーム編成		・授業の進め方について理解できる。 ・遠隔チーム編成が構築できる。		
		2週	企業経営の基礎概念の復習		・企業経営の基礎を理解し、起業・創業の基礎を理解できる ・ビジネスプラン作成方法を理解できる。 ・市場調査、プロモーションミックス、AIDMAを理解できる。		
		3週	販売管理ワークショップ (WS)		・広告に関するワークショップ (WS) を通じて、遠隔グループワークを実践できる。		
		4週	ビジネスプラン作成WS①		・テーマを理解し、市場調査方法、原価計算手法、利益計画立案方法を理解することができる。		
		5週	ビジネスプラン作成WS②		・仮想商品の市場調査を実施できる。 ・原価を想定し、利益計画を立てることができる。 ・チームで役割分担し、チームワークができる。		
		6週	ビジネスプラン作成WS③		・ビジネスプランを発表することができる。 ・ビジネスプランをレポートにまとめることができる。		
		7週	中間発表会		・グループ内で担当を割り当てて制限時間内に発表できる。		
		8週	スケジューリング手法WS① (経営工学手法とは、アローダイアグラム)		・経営工学手法にはどのようなものがあるのかを把握できる ・先行作業に基づいてアローダイアグラムの作成が出来る		
	4thQ	9週	スケジューリング手法WS② (日程計画法の指標)		・日程計画法に必要な時間を求めることができる。		
		10週	スケジューリング手法WS③ (プロジェクトマネジメント 人月計算)		・各作業に必要な工数や要員を求めることができる。		
		11週	スケジューリングWS① (ガントチャート、グループワークの取り組み)		・他高専と連携して、実用可能なスケジュールテーマを設定し、その内容について議論することができる		
		12週	スケジューリングWS② (グループワークの取り組み②、筆記試験について)		・他高専と連携して、実用可能なスケジュールテーマを設定し、その内容について議論することができる		

		13週	期末発表会 (グループが少ない場合は筆記試験対策)	・グループで担当を決め、制限時間内で説明できる。 ・(筆記試験で出題される内容の知識を理解し、応用することができる)
		14週	期末発表会	・グループで担当を決め、制限時間内で説明できる。
		15週	定期試験	
		16週	試験返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	口頭発表	筆記試験	レポート	合計
総合評価割合	40	40	20	100
知識の基本的な理解	30	10	0	40
思考・推論・創造への適用力	10	30	5	45
汎用的技能	0	0	5	5
態度・志向性（人間力）	0	0	5	5
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	5	5